

令和元年度がん教育総合支援事業 がん教育推進校実践報告

北海道豊富高等学校

学級数：3学級 生徒数：59人

【実践テーマ】

地域の保健師や学校医など、専門家と連携したがん教育を実践し、がんについての正しい理解と、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

外部講師との連携：「がん教育」講話

○講師：豊富町役場保健推進課保健予防係 保健師 能登屋仁美 氏

○対象学年・人数：第1・2学年・36人

○内 容：

- ・「がん」という病気について
- ・豊富町のがん検診の現状について
- ・がんの原因や予防について
- ・豊富町のがん予防の取組について
- ・がん検診の内容
- ・がんにならないために自分でできること（グループワーク）



○講師：幌延町国民健康保険診療所

院長 田川豊秋 氏（学校医）

○対象学年・人数：第1・2学年・36人

○内 容：

- ・「がん」という病気の現状
- ・がんの治療法
- ・緩和医療、がんとの付き合い方



他教科との関連を図った授業実践：国語総合・現代社会

○教科：国語総合 ○対象学年：第1学年

○使用教材：文部科学省委託事業「がん教育プログラム」

○内 容：グループワーク及び作文

- ・がん患者とともに生きる社会を考え、作文にまとめる

○教科：現代社会 ○対象学年：第2学年

○使用教材：新聞記事

文部科学省委託事業「がん教育プログラム」

○内 容：新聞記事の読み取り、グループワーク及び発表



成果と課題

○ 地域に密着した活動をしている保健師やがんと深く関わっている医師の説明により、検診率の現状や豊富町のがん対策の取組、がんについての正しい知識と命の大切さについて理解を深めることができた。

● 効果的ながん教育を実践できるよう継続的に取組を進める必要がある。